

新規就農者の素顔	農業経営の状況
 <p>氏名 寺尾 智也 (てらお ともや) 住所 養父市大屋町 年齢 27才</p>	<p>農地：80a (借地含む。全て飼料用イネ栽培) 施設：牛舎、堆肥舎 経営内容：繁殖和牛 母牛50頭 労働力：自分、両親 出荷先：但馬家畜市場</p>  <p>(写真：JA たじま提供)</p> <p>「平成 22 年度たじま農協東部子牛品評会」で、愛牛が一等賞一席に選ばれました。</p>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2002年 高校卒業後「鬼太鼓座」で4年間、国内外で公演活動 2006年 就農 (繁殖和牛頭経営開始 15 頭) 2011年 繁殖和牛 50 頭</p>	<p>○良かった点 良い子牛が育てられたとき等、嬉しいことは家族全員で分かち合うことができることです。 がんばって良い子牛を育てれば、直接経営に返ってくる。そのだご味が楽しいです。</p> <p>○苦労した点 就農時に牛舎の増築と増頭を行うための資金繰りに苦労しました。現在は、多頭飼育経営を行っていますが、コスト削減など経営管理が難しいです。</p>
農業を目指した動機	後輩へ贈る言葉
<p>小さいころから父が畜産業を営んでいたため、自分も畜産業を「継ぐんだ」という思いがしだいに強くなったからです。</p>	<p>自分も就農して数年。まだまだこれからです。成功している先輩に追いつけ、追い越せと、目標を持ってがんばっています。 自分の能力に合った経営規模を客観的に判断して長期経営ビジョンを作成し、毎年の目標を着実に達成していく計画性が大切だと思います。 就農支援資金を活用することで、自分のビジョン作成に役立ちました。</p>